

市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース v o 1.33 ITAMI大好き! 2013年5月

新しい施設がオープン!

この春、市内に新しい施設がいくつか開設しました。もちろん、財政難の折に“なんでもかんでも”建設しているわけではありません。何が必要かの優先度を熟議し、国の補助金なども活用して経費についても掘り下げ、オープンに至った施設です。ではピックアップしてご紹介します。

■防災センター

4月1日、伊丹市の防災拠点として「伊丹市防災センター(伊丹市役所東館)」が運用開始しました。場所は市役所の東隣。元図書館の建物を改修しています。

1Fは、**備蓄倉庫と各種展示**。災害時は**市民窓口**などに。2F・3Fは、市の危機管理室や会議室など。災害時は**災害対策本部**や対策室に。他にも、エフエムいたみのサテライトスタジオ・防災通信機器なども。

平時は防災学習や研修を実施し、災害時はセンターをフル活用して対応にあたります。

建物改修費は、国の補助金を活用しています。国の補助金メニューに左右されるのは本末転倒ですが、上手く活用するのは賢明な選択だと考えます。

センターを活用し、今後いっそう**市民の防災減災に努めて**いきます。



防災関連グッズ展示



災害対策本部



看板前にて

■神津こども園

4月1日「伊丹市立神津こども園」が開園しました。ここは、これまでの「市立神津幼稚園」と「市立神津保育所」を**一体的に運営する“市立の認定こども園”**。

“認定こども園”とは、**幼稚園と保育所の機能を一体化させた施設**で、**保護者の就労の有無等にかかわらず、幼児教育と保育が受けられます**。私はこの考え方に共感しており、伊丹でも“こども園”を進めたいと考えています。

これまで、伊丹市では就学前の子どもの施設のあり方について、紆余曲折を経てきました。

公立保育所民営化の案が出たが、より良い方法があると白紙に戻し、認定こども園を整備することにしたが課題も多く・・・晴れて神津こども園(伊丹での公立こども園第一号)がオープンできたのは嬉しい限り。感慨もひとしおです。

4月に156名が神津こども園の園児になりました。これからは本番です。良い園になるよう私も尽力するつもりです。

しかし伊丹の就学前の子どもの施設については、未だ課題も多く(保育所の待機児童・幼稚園の園児数減少など)、いまだ道半ばです。伊丹にとってベストなあり方を模索し充実させるべく力を尽くします。H25年度には正式な議論の場もリスタート。**伊丹を子育てしやすい街に!**



部屋の様子



2階のウッドデッキ



2階から園庭を臨む